

あいさつの大切さ

校長 佐藤 勝志

早いもので、令和2年度も残すところ1か月余りとなりました。今月の初めには、今年度最後の定期テストも行われました。そして、いよいよ3月の卒業に向けての準備も始まりました。卒業式練習とともに、1、2年生は3年生への感謝の気持ちを表そうと「感謝Week」を設定し、新修成会役員、新専門委員長を中心に様々な企画に取り組んでいます。そのような中、1月の中旬に小中一貫の取組として、「さわやかあいさつ運動」が行われました。児童生徒のあいさつから、改めて、「あいさつの大切さ」をみんなで考えたく、生徒朝会で、以下の内容で「あいさつ」について話をしました。

毎日寒い日が続きます。そんな寒さの中でもうれしい気持ちに、あたたかい気持ちになることがあります。それが、みんなからの「あいさつ」です。大きな声で「おはようございます」と言ってくれると、うれしくなると同時に、びしっと身が引き締まる思いになり、今日も一日頑張ろう。そんな気持ちになります。しかし、こちらが挨拶をしても返してくれない時には、非常に寂しくなるとともに、心配になります。

そこで、「あいさつ」には、どんな意味があるのでしょうか。

漢字の「挨拶」という字。この「あいさつ（挨拶）」の「あい」には、心を開く、「さつ」には、その心に近づくという意味があります。つまり、自分の心を開くことで、相手の心を開かせ、相手の心に近づいていくという意味があるといわれます。言い換えると、「私はあなたの存在を認め、受け入れますよ」という解釈も出来るかもしれません。

また、挨拶を交わすことで、お互いのことを確認し合えます。

「おーい、元気かい？ 自分は元気だよ。君は？」「うん、元気だよ」「お互い、今日も頑張ろう」「楽しく過ごそう」。それが、「おはよう」という「あいさつ」一言でできる、そんな感じでしょうか。

つまり、「目の前にいるあなたとわたしは、この世界で同じ時間を一緒に過ごす大切な関係ですよ」と解釈できるでしょうか。

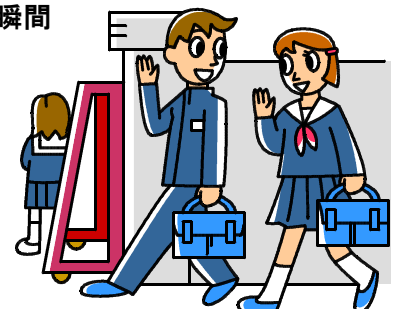
あいさつは、心を開き、相手に対等で同じ世界に生きる仲間として認め、お互いの信頼を築いていく大切な一瞬だということです。

爽やかなあいさつ、お互い気持ちがいいじゃないですか。

改めて今日、みんなに挨拶について話し、私自身が感じたことがあります。それは、当たり前ですが、あいさつはとても大切であること。そして、挨拶は周りの人とつながりながらより良く生きていく魔法であるということです。

4月からそれぞれが新しい世界に生きることになります。そのスタートは、「あいさつ」からです。爽やかなあいさつで、4月からのスタートが切れるように、今、この瞬間から「あいさつ」をしっかりと行おう。元気に明るい「あいさつ」ができる二中学生に、人いでてください。

学校でも、どんどん「あいさつ」を進めてまいります。ご家庭や地域でも、今まで以上に元気なあいさつができるように、ご支援・ご協力をお願いいたします。



生徒アンケート・保護者アンケートの集計結果から

◇生徒アンケートにおける肯定的な回答の割合

1	進んで学習に取り組んでいる。	81%
		84%
2	授業中は楽しく学習できている	86%
		89%
3	プランタイムを活用し、毎日家庭学習をすることができている。	67%
		75%
4	見通しをもって学習に取り組むことができている。	85%
		79%
5	自分のよいところと言える。	69%
		70%
6	友だちのよいところと言える。	96%
		97%
7	他学年や小学生と活動する時、自分が役に立っていると感じることがある。	54%
		60%
8	自分で起床時刻、就寝時刻を設定し、守ることができる。	68%
		70%
9	ノーメディアデーの意味を理解し、取り組むことができる。	74%
		79%
10	体育の授業に意欲的に取り組むことができる。	85%
		83%

上段は1学期末の結果、下段は2学期末の結果

昨年12月に全校一斉に生徒による学校評価を実施しました。今年度、第二中学校は『進んで取り組み学ぶ楽しさを感じる授業を進める』『自他のよさを感じる共感的な人間関係を育てる』『自らの生活習慣の向上を図る取組を進める』を重点課題とし、上記項目について自己評価し、結果を表にまとめました。

学習についての評価から、多くの生徒が「進んで学習に取り組んでいる」し、「楽しく学習できている」ようです。また、「プランタイムを活用し、家庭学習ができている」と、前向きに評価していますが、「見通しをもった学習」ができていないようです。「見通しをもった学習」は、授業でのことなのか、家庭学習のことなのか、はっきりしません。学校では、1時間の授業の流れや見通しに気を付けた授業を行っていますが、まだ不十分なのでしょう。生徒の学ぶ意欲を高めるために、職員全体でその取組方法等を検討していきます。また、ご家庭でも「今日の家庭学習」について話題にしてください、生徒と会話をしていただけるとありがたいです。

「友だちのよいところと言える」生徒は多いのですが、「自分のよいところと言える」生徒は少ないようです。全国的にみても、「自分の長所と言える」生徒は少ないようです。二中では毎年、学校行事の後に、友だち同士でメッセージを交換し合い、互いの活動を認め合う活動を行っています。今年度は活動が少し制限されましたが、次年度も同様の取組は続けていきます。ご家庭でもお子様に何かしらの役割を与えて、認める機会をつくっていただくと良いかと思えます。

「ノーメディアデー」は今年度「生活習慣強調週間」と名称を変え、理想の睡眠時間を確保するため、生活の仕方を考えたり工夫することを目標としてきました。期間内では意識をしていたようですが、日常的には自己管理することはなかなか難しいようでした。次年度は生活ノート「二中ライフ」を活用し、規則正しい生活習慣を送る良さを意識した取り組みを実施していきます。ご家庭でのご協力もぜひお願いします。

保護者アンケートにおける肯定的な回答の割合（数字は2学期末の割合）

1	「進んで取り組み、学ぶ楽しさを感じる授業を進める」という二中の基本方針を知っている。	66 %
2	「自他のよさを感じる共感的な人間関係を育てる」という二中の基本方針を知っている。	64 %
3	「自らの生活習慣の向上を図る取組を進める」という二中の基本方針を知っている。	66 %
4	生徒や保護者、地域から信頼されるよう努力している成果は上がっている。	82 %
5	二中の生徒は、元気よく、気持ちのこもったあいさつができる。	75 %
6	二中の生徒は、中学生らしい服装や身だしなみで生活している。	97 %
7	二中の生徒は、他に対して思いやりのある言動をとっている。	84 %
8	二中の生徒は、目標に向かって部活動に取り組んでいる。	88 %
9	二中の生徒は、諸活動において、仲間と協力し、いきいきと活動している。	93 %
10	二中の教職員は、生徒一人一人の自己有用感を高める取組を実践している。	81 %
11	二中の教職員は、様々な活動を通して、集団の質的向上を図っている。	82 %
12	二中の教職員は、家庭との意思疎通を積極的に行い、保護者との連携をとっている。	82 %
13	子どもは、進んで学習に取り組んでいると言っている。	64 %
14	子どもは、授業中は楽しく学習できていると言っている。	66 %
15	子どもは、家庭学習の習慣が身についてきていると言っている。	67 %
16	子どもは、自分のよいところが分かっている。	75 %
17	子どもは、友だちのよさを認めている。	94 %
18	子どもは、起床時刻・就寝時刻を意識して生活している。	59 %

中学生については、概ね高評価を得ていますが、その中で気になるのが「あいさつ」の評価の低さです。今以上に元気なあいさつがあふれる学校に向け、生徒と共に取り組みますので、ご家庭においてもよろしく願いいたします。

学習においては、総じて全体よりも評価が低くなっています。生徒が「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」を実感できる授業づくりに励んでいきます。また、「家庭学習の習慣」については、「起床時刻・就寝時刻」とも関係があります。学校とご家庭との連携が必要です。学校でも、「3点（起床時刻・学習時刻・就寝時刻）固定」をさらに生徒に働きかけていきます。各ご家庭におきましても、生活のリズムを整え、家庭学習定着に向け、それぞれの時刻をお子さんと相談・確認され、励ましの声かけをお願いいたします。

第2回生徒総会から 1月19日(火)実施

修成会本部の活動報告

修成会スローガン「Move on ～新しい二中の第1歩～」のもと、向上心を持ち様々な活動を行ってきました。その成果と課題を本部が報告しました。

1、修成会掲示板

各委員会の企画や報告を掲示し、学校内外の人に見てもらうことができた。

また、修成会本部の「かわら版」や行事予定を掲示し、修成会の活動が全校生徒に伝わるようにできた。

2、目標&振り返りシート

行事を重ねるごとに、自分の長所を見つけられるようになっていき、個々の成長の変化を味わってもらうことができた。

3、二中目安箱Day

「全校生徒が意見、質問を出しやすい環境の整備」に向けて、出てきた意見や質問を委員会や本部で検討し、活動に反映することができた。

4、朝のあいさつ

玄関前でのあいさつを返してくれる人が4月に比べて増えた。これからはあいさつをするだけでなく、お互いが目を見て明るい声でさわやかなあいさつをしてほしい。

いじめ見逃しゼロスクール集会

修成会本部と各委員会がいじめ見逃しゼロにむけて取り組んだ企画の成果や課題を発表しました。また、集会の最後には、校長先生による全校道徳も行われました。

・修成会本部と委員会の発表



・校長先生による全校道徳の様子

